



「手の中にある命

誠実の像の前で

草むしりをしていた朝

車で来校された先生が

こう私に言われた

「先生が育ててみえる

かわいがってみえる

花たちをまたいでは

いけませんね」と

その先生は花壇を大回りされ

来賓玄関に入っていかれた

その時こう思った

そう花たちは何も

言わないけれど

私たちと同じ命なんだと

中庭にある

一年間荒れた畑を

スコップとくわで開墾

汗を流し草むしり

畑らしくするために

茄子だの南瓜だの

名札もつけた

そんなあなたたちが

大切にしようとしているもの

それが命

あなたの両手の中にあるもの

それが命

あなたが大きく育てと

自分のことのように

そう願っているもの

それが命

生徒たちが畑づくりに挑戦

